

夢洲における国際医療のあり方研究会議

【第 1 回会議】

令和 4 年 7 月 1 日

事務局作成資料



本研究会議の進め方について

■ 本研究会議の進め方について

- 令和4年4月12日 スーパーシティ型国家戦略特区として、大阪市が区域指定
- 年内に、規制改革項目を中心とする区域計画の案に加え、大阪のスーパーシティの全体像を表す全体計画を作成

大阪府市スーパーシティ構想の提案内容

先端国際医療の提供として、「国籍や場所を問わず、先端国際医療サービスを日常的に享受することができる環境の整備」などを提案

本研究会議の設置目的

区域計画の案の検討にあたり、万博終了後の夢洲において、万博レガシーを活かし、外国人患者が安心・安全に診療を受けられる医療環境の整備について、医療機関設置の可能性を含め、必要となる基本的考え方について検討するため、研究会議を立ち上げ専門家の意見を聴取する。

■ 本研究会の進め方について

本日ご議論いただきたい主なポイント

- ◇ 万博終了後の夢洲において求められる国際医療の環境整備
- ◇ とりわけ、医療機関設置の可能性

夢洲において医療機関を設置する場合の方針（案）

- ・ 国際医療貢献の拠点となりうるものを想定
- ・ 医療サービスの対象は外国人患者
- ・ 府内の大学病院等の先端医療機関へつなぐゲートウェイ機能を備える
- ・ 自由診療を行う
- ・ 外国人医師・看護師も医療に参加

※事前に各委員からヒアリングした結果をもとに作成

◇ スケジュール（案）

夢洲における国際医療のあり方研究会議

第1回
(7月1日)

- ・意見交換
- ・必要な論点整理

事務局において
検討・調整

第2回
(8月中)

- ・事務局案をもとに議論
- ・意見とりまとめ

大阪府・大阪市

国際医療の環境整備
について、スーパーシティ
全体計画に反映

以降、必要に応じて
医療機関設置を含め
具体的に検討⁴



大阪府・大阪市スーパーシティ構想（抜粋）

■ スーパーシティにおける提案内容

大阪府・大阪市スーパーシティ構想 ～データで広げる「健康といのち」～

「健康といのち」をテーマに、2つのグリーンフィールドで3つのプロジェクトを展開

2023年～

【夢洲コンストラクション】

- ① 建設工事現場内外の移動、
- ② 建設工事及び資材運搬、
- ③ 建設作業員の安全・健康管理
の3つの円滑化を推進



2024年～

【うめきた 2 期】

(中核機能のテーマ)

ライフデザイン・イノベーション

超スマート社会が到来する中、IoTやビッグデータ等の活用により、創薬や医療機器開発などの分野にとどまらず、人々が健康で豊かに生きるための新しい製品・サービスを創出



2025年

【大阪・関西万博】

(テーマ) いのち輝く未来社会のデザイン

(サブテーマ) 『Saving Lives (いのちを救う)』
『Empowering Lives (いのちに力を与える)』
『Connecting Lives (いのちをつなぐ)』



提供：2025年日本国際博覧会協会

スーパーシティと万博レガシーを展開

大阪全体・
全国への波及

めざすは住民QoLの向上と
都市競争力の強化

輝く未来社会

スーパーシティと
万博レガシーを
880万府民につなぐ

■ スーパーシティにおける提案内容

大阪府・大阪市スーパーシティ構想の概要

目的

住民QoLの向上

QoL・・・Quality of Life 「生活の質」

SDGsの達成
万博レガシーの継承

都市競争力の強化

大阪SDGs
行動憲章

わたしたちは、「誰一人取り残さない、持続可能な社会の実現」をめざす“持続可能な開発のための2030アジェンダ”（SDGs）の理念に賛同し、2025年大阪・関西万博の地元都市として、万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」に向けて、SDGsの17ゴールの達成をめざします

ビジョン

ストレスフリーな
最適移動社会
【モビリティ】

活力にあふれる
データ駆動型社会
【ビジネス・イノベーション】

豊かに暮らす
健康長寿社会
【ヘルスケア】

大阪広域データ連携基盤

[ORDEN : Osaka Regional Data Exchange Network]

移動

物流

医療

健康

まちづくり

防災

空飛ぶクルマ

- 日本初の空飛ぶクルマの社会実装
空飛ぶクルマを万博会場へのアクセスや観光周遊サービスなどで活用し、社会実装を実現

次世代モビリティ

- レベル4の自動運転の社会実装
万博会場へのアクセスを、車内観光案内とレベル4の完全自動運転により、楽しく移動
- 自動運転×貨客混載による交通渋滞緩和
自動運転バスを使った建設作業員と工事資材の効率的輸送により交通渋滞緩和

先端国際医療

- 先端国際医療サービス
国籍や場所を問わず、先端国際医療サービスを日常的に享受することができる環境を整備

未来健康サービス

- データ連携による次世代PHR
データ連携基盤を活用した、健康、医療、介護、薬剤、スポーツなど幅広い分野にまたがる次世代PHRの実現
- 個別最適型の健康増進プログラム
ヒューマンデータとAI分析等のエビデンスに基づく個人にあった健康増進プログラムの提供

夢洲コンストラクション

- ドローン等による建設現場の革新
資材運搬、測量、工事管理、現場見守り等にドローン、BIM・CIMデータ等を積極活用

うめきたパークネス

- みどり×IoT×健康
健康増進サービス、リアルとデジタルの融合空間の創造、ロボットによる施設管理等により未来の公園を実現

ピンポイント気象予報と防災

- AI等による気象予報による防災
AI技術と観測データなどを活用し、地域限定の気象予報サービスを提供

主な先端的サービス

主な先端的サービスの内容①（移動、物流等）

移動・物流等

イメージ

サービス内容

イメージ

サービス内容

フェーズⅠ ～2024年 Before万博

<夢洲コンストラクション>



出典：経済産業省HP

【ドローン・BIM/CIM等による夢洲開発の円滑化】

- 夢洲開発における工事の円滑な進捗と安全管理のためにドローンを最大限に活用

- ① ドローンによる資材等の運搬、作業現場域内の高所等への資材配送
- ② ドローンを活用した測量・工事管理
- ③ ドローンによる建設現場の見守り

【AI等による気象予報】

- AI技術と観測データなどを活用し、地域限定の気象予報サービスを提供

<自動運転車(レベル2)での貨客混載>

貨物搬送・乗客乗降の自動化

乗客乗降の自動化

貨物搬送の自動化

乗客乗降の自動化

貨物搬送の自動化

乗客乗降の自動化

貨物搬送の自動化

乗客乗降の自動化

貨物搬送の自動化

乗客乗降の自動化

貨物搬送の自動化

乗客乗降の自動化

貨物搬送の自動化

乗客乗降の自動化

貨物搬送の自動化

乗客乗降の自動化

貨物搬送の自動化

乗客乗降の自動化

貨物搬送の自動化

乗客乗降の自動化

貨物搬送の自動化

乗客乗降の自動化

貨物搬送の自動化

乗客乗降の自動化

貨物搬送の自動化

乗客乗降の自動化

貨物搬送の自動化

乗客乗降の自動化

貨物搬送の自動化

乗客乗降の自動化

貨物搬送の自動化

乗客乗降の自動化



【貨客混載・ライドシェア】

- 作業員用シャトルバスで貨客混載することで工事資材や弁当等の運送を効率化
- ライドシェアによる夢洲工事の交通量削減

【シャトルバスの自動運転化】

- レベル2での自動運転走行を大型第一種免許で可能にし、輸送効率を向上

フェーズⅡ 【2025年 With万博】

<日本初の空飛ぶクルマの社会実装>



空飛ぶクルマの
離着陸場

提供：2025年日本国際博覧会協会

【空飛ぶクルマ／万博アクセス】

- 関西の主要空港から万博会場を結ぶ、空のアクセスとしての空飛ぶクルマの社会実装

【空飛ぶクルマ／観光周遊】

- 主要観光地と万博会場を結ぶ、観光アクセスとしての空飛ぶクルマ

<自動運転車(レベル4)の実装>

(ルート案)



提供：2025年日本国際博覧会協会
※電子地形図（国土地理院）を加工して作成



【自動運転／万博アクセス】

- 主要駅から万博会場へのアクセスを、車内観光案内やレベル4の完全自動運転化で楽しく移動

【自動運転／万博会場内】

- 広大な万博会場内の移動を、自動運転車により手軽に楽しく移動

フェーズⅢ 2026年～ After万博

<日常での空飛ぶクルマの普及>



出典：経済産業省HP

【街中にポートが存在する日常モビリティ】

- 主要駅やビルの屋上（Hポート・Rポート）、コンビニの駐車場、ウォーターフロントなど、市街地のあらゆる場所にポートが存在し、日常使いのモビリティとして空飛ぶクルマが普及

<多様なサービスを繋ぐ都市型MaaS>



出典：Osaka Metro Group 中期経営計画「MaaSの推進」

【都市型MaaS】

- 交通手段による移動を1つのサービスとして捉え、それらをシームレスにつなぐことで、移動を支えるトータルサービスを実現し、多様なサービスが選択できる都市型MaaSを社会実装

主な先端的サービスの内容②（医療、健康等）

ビジョン

サービス内容

医療・健康等

ビジョン

サービス内容

フェーズⅠ
～2024年 Before万博

＜建設作業員の健康管理＞



- 広大な敷地で働く建設作業員の健康管理のために、バイタル情報や滞在場所環境、気象情報などをAI解析し、個人にあった適切なタイミングでのアラートを通知する

フェーズⅡ
【2025年 With万博】

＜“健康といのち”がコンセプトの万博＞



「大阪パビリオン」イメージ図

- 大阪府と大阪市がREBORNをテーマに設置する「大阪パビリオン」では、未来の診断や健康ケア、未来医療が体験できるサービスを提供

フェーズⅢ
2026年～ After万博

＜先端国際医療の提供＞



- 遠隔医療や遠隔投薬、AIやロボットによる診療支援、再生医療などの先端医療サービスを、国籍や場所を問わず、日常的に享受することができる環境の整備

＜うめきたパークネス＞



- 健康増進サービス、リアルとデジタルの融合空間の創造、ロボットによる施設管理等により未来の公園を実現
- ヒューマンデータとAI分析等のエビデンスに基づく個人にあった健康増進プログラムの提供

＜フューチャーライフ万博＞



提供：2025年日本国際博覧会協会

- フューチャーライフ万博は、Society5.0が実現する未来社会を「共創」によってつくりあげるインキュベーション型事業
- フューチャーライフパークを拠点に、未来のヘルスケアの実証・実装(健康医療等データ活用、医療機器・福祉用具等)も行う

＜データ連携による次世代PHR＞



- スーパーシティで実装するデータ連携基盤などを通じ、健康、医療、介護、薬剤、スポーツなどあらゆる分野のサービスをつなぎ高度化を図る、次世代PHRを実現

■ スーパーシティにおける提案内容

医療・
健康

英語による医師・看護師国家試験の実施

■ 実現したいサービス内容

- 外国人が安全・安心に暮らせる社会インフラの構築（直接、母国語等による診療を受けられる）
- 外国人医師・看護師の活躍の場の拡大と外国人材の活用促進

■ 求める規制改革

外国人にとって高いハードルとなっている日本語での受験義務を課さず英語での受験を認めることで、外国人医師・看護師の活躍の場を拡大

- ・ 英語による国家試験の実施
- ・ 診療では英語や母国語の使用が想定されることから、日本語能力は関係者間でコミュニケーションをとるのに必要なレベル（N2相当）で可とする



外国人医師・看護師
（英語で受験し、日本の医師・看護師免許を取得）

患者



勤務場所は海外、国内のいずれも可能

- ・ 海外の場合、指定区域内医療機関の非常勤勤務医として契約
- ・ 大阪の場合、指定区域内医療機関限定

これまでの経緯

外国人は日本語による医師・看護師試験を受け、日本の医師・看護師免許を取得しなければ日本国内で医業・看護師業務を行えない

※ ただし、英・米・仏・星4か国との間では二国間協定を締結、英語による医師国家試験を実施し、合格した外国医師に日本の公的医療保険を利用しないこと等、一定の条件を付した医師免許を与えている

H29 英語による外国人医師・看護師試験の実施につき、大阪府市で特区提案

⇒ 対応は困難との厚生労働省の回答

■ スーパーシティにおける提案内容

医療・
健康

海外承認薬（国内未承認薬）の処方

■ 実現したいサービス内容

指定区域内の医療機関において、自由診療・院内処方を前提に、海外既承認・国内未承認薬の使用を可能とする

■ 課題

- ・ 国内未承認薬を処方するためには、医師が個人輸入をする必要がある

■ 法規制の壁

「医薬品輸入手続質疑応答集」

- ・ 医師が自身の患者に対して用いるために個人輸入することとされている

■ 求める規制改革

- ・ 医療機関が医薬品の輸入手続きを行えるようにする

医療機関による海外承認薬（国内未承認薬）の院内処方



■ スーパーシティにおける提案内容

医療・健康

食品販売、飲食店での提供に際しての効能表示

■ 実現したいサービス内容

特別用途食品の病者用食事セットの 카테고리を追加するとともに、機能性表示食品について、疾病予防や疾病リスクの低減にかかる表示を可能とする

大阪バビリオン

来館者のバイタルデータ等を取得、AIのデータ解析から導き出される診断サマリーを表示

例) 「脳年齢」、「肌年齢」などの表現で身体の状態を表したものの(検討中)



館内のREBORNレストランにおいて、パーソナルヘルスレコードでの診断サマリーを元に、パーソナライズされたヘルスケアフードやドリンクを提供

例) 「若返り食事セット」
玄米ご飯、鮭の豆乳鍋、トマトとアボカドのサラダ

提供する食事について、「肌年齢を改善する」「脳を若返らせる」「筋肉の老化を抑える」などの表示を付記、来館者の関心を惹起 ※万博前の実証実験により、効果検証を行う予定。



■ 課題

- 特別用途食品は、糖尿病用組合せ食品及び腎臓病用組合せ食品以外、献立として許可を受けることができない
- 現状、機能性表示食品には、疾病予防・疾病リスク低減に係る表示は認められていない

■ 整理が必要な法整備

- 特別用途食品の表示許可基準（R1.9.9消費者庁次長通知）
特別用途食品の病者用食事セットの 카테고리追加
- 「機能性表示食品の届出等に関するガイドライン」
IV (VI) 第1、3「表示禁止事項」
- 「食品表示法に基づく食品表示基準」第3条第2項
疾病予防、疾病リスク低減の表示を可能とする記述の追加